

2010年9月17日

小川町長 笠原喜平様

日本共産党 小川町議会議員 柳田多恵子

## 要望書

### 成人T細胞白血病ウイルス（HTLV 1）の抗体検査の実施を

本年3月議会の厚生文教常任委員会で、成人T細胞白血病ウイルス（HTLV 1）の抗体検査を妊婦健診に加える独自助成を求めました。町は、情報を集めて国の動向を見ていきたいとの回答でした。

母体がキャリアの場合、母乳を通して子どもに感染します。感染して症状が出るまで30年から50年で、発症する可能性は5%ほどとされていますが、母乳での育児から人工乳での育児に切り替えることで感染を防ぐことができます。前宮城県知事の浅野史郎氏がこのウイルスで白血病を発症したことを公表しています。

9月13日、菅首相は、成人T細胞白血病ウイルス対策を検討する会合で「妊婦を対象とした全国一律の抗体検査やカウンセリングを今年度中に実施に移せるよう検討を進めたい」と述べ、今年度中の対策実施を強調しました。検査費用は1人2千円程度。年間約110万人の妊婦の総費用は約20億円とみられ、本年度分は予備費をあてることなどを検討するということです。

速やかな情報収集と妊娠月数の高い妊婦には町独自助成で抗体検査の対応を要望します。

以上